

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: “HALO” (ヘイロウ)

平成 30 年 6 月 18 日

COLOR: COAL/FUCHSIA/SKYBLUE



WEIGHT BLOCK : CENTRUM CORE

COVER STOCK: MICRO TRAX-S18 (SOLID) REACTIVE

RG : 2.49 ΔRG:0.050 ID:0.018

FACTORY FINISH: 2000-Grit PAD

TRACK FLARE POTENTIAL: High

BACK END:19 (1-20) MAX LENGTH : 16 (1-20)

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

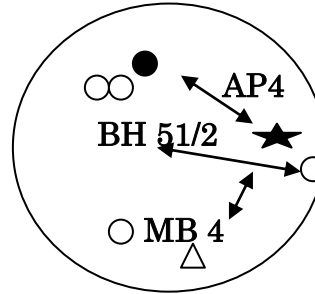
適正レーンコンディショニンググラフ

【ミディアムレーン 編】

レイアウト例

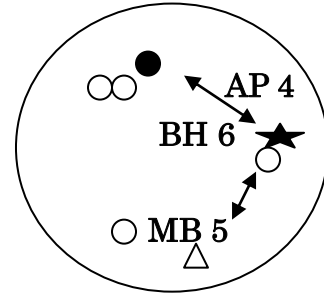
HALO

HYPER CELL



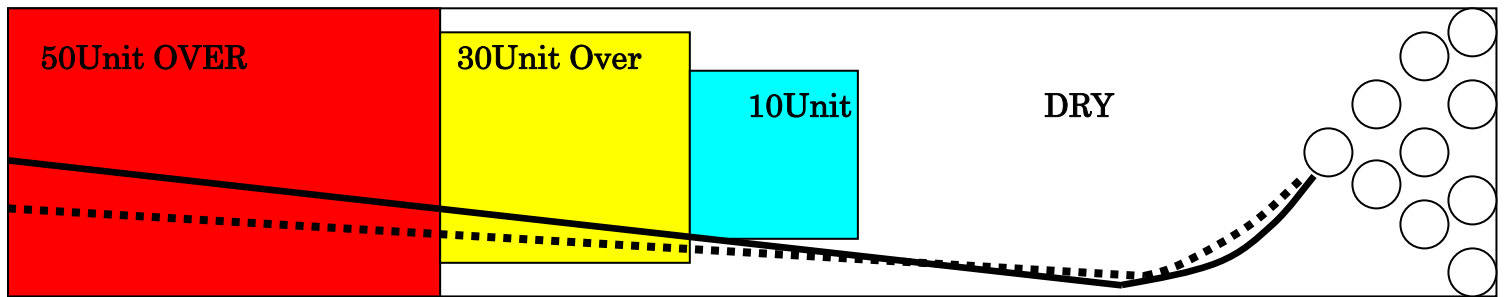
CA52 度

フラー幅 最大 63/4 ・ 間隔 1/8



CA52 度

最大 6 3/4 ・



0F

15F

37F

40F

比較品ライン

HALO

HYPER CELL

【レーン状況】 ベースコンディションではミディアムクラスのレーンでピン側は手拭きにてレーンクリーニングを行いました

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△				

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

開発コンセプトで一番重視している事は、レーン中盤から後半に消耗しやすい回転を助け、継続的に力強いアーク状の曲りを出す事です。マイクロトラックとセントラムコアの組合せは、全体的にはオイルに強いのですが投げ難さを感じさせず、とても使い易いROTOGRIPの良い所が継承されているボールです。

【ここがポイント】



新開発コアには過去のROTOの歴史で学んだボウラーの弱点を克服するコンセプトが随所に見られます。レーン手前での転がりはレーン中盤にかけてオイルに強めの物は無駄な摩擦を起こし易く、ブレークポイントからの回転や軸移動にマイナス面を出していました。新作HALOは無駄な動きを極力少なくピンヒットする事で強く継続的な動きが得られます、大ヒット作CELLにも似てる動きがしましたが新素材はオイルに程よく強いので投げ易いです

平成 30 年 8 月 販売予定 テスト協力 : 本八幡ハタ BC テスター : 石原 章夫プロ(11 期)